



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.9.26 No.4666

新「戦争マル」締結弾効!

新たな反戦・反安保闘争をつくりだそう

●米政府「日米同盟」実現と賛美

九月二四日の新安保ガイドライン(日米防衛指針)強行締結にたいし、激しい怒りをこめこれを徹底弾効し、朝鮮有事を想定した日米の新軍事同盟を許さず、新たな反戦・反安保闘争を職場・地域からつくりだす、その先頭でたたかうことを固く決意する。

新ガイドラインとは、英字紙が「戦争マニュアル」と報道しているところ、日本が米軍と一体となって朝鮮侵略戦争に乗り出すことを内外に宣言したことに他ならない。

九月二四日の各紙新聞紙上においてさえ、「周辺有事に掃海や臨検」「朝鮮有事(戦争)に備え」(東京新聞)と暴露している。その中で『アメリカは、ガイドライン提案は「日米同盟軍」としてだけでなく「アジア太平洋軍」として位置づけられる。』とまで言っているのだ。

再度、新ガイドラインの内容について暴露断罪する。その第一は、自衛隊と米軍の日米共同作戦を詳細に取り決め、自衛隊はいつでも海外の戦闘行動に参加できること、第二に日本全土の空港・港湾を攻撃基地として提供し、輸送機関を兵員・武器の輸送のために

総動員する。第三に、国・自治体、民間の労働者の戦争動員をうちだし、全産業の労働者を罰則をもって戦争にかりだすというものである。

●「先」は朝鮮

アメリカの戦争計画「五〇二七」では、五〇万の米軍を投入し、北朝鮮に攻め込んで平壤を占領する。そのためには朝鮮人民一〇〇万人の犠牲もやむを得ないとしており、そこに日本が参戦するというものである。断じてこのような侵略を許してはならない。

●「先」は朝鮮

日本の戦後五〇年余の歴史は、いま重大な岐路にたたさされている。われわれは固く決意する。一千万人ものアジア人民を虐殺し、奪い尽くしてきた侵略の歴史を絶対に繰り返かえしてはならないということ。

沖繩戦を強行し、ヒロシマ・ナガサキをもたらした戦争と暗黒の道を断じて歩んではならない。

闘う労働者(運動)の渾身の決起と広範な人民の戦争反対の声、行動だけがこの歴史の大逆流を阻止する力であることハッキリと確認し、その先頭でたたかうものである。

●闘いははじま

反撃ははじまっている。「反戦共同行動委」主催の九・二三闘争は、雨の中二五〇〇名が結集し、権力の弾圧をもつとせず激しい弾効のデモがたたきつけられ、新たな反戦・反安保の巨たなうねりをつくりあげることが宣言された。

沖繩において、全国の基地をめぐる闘いにおいて、そして国鉄闘争を中軸に、行革・失業攻撃との闘いが現場・地域からはじまっている。

社共をのりこえ、連合を打倒する、労働者人民の新たな共闘陣形をつくりだすための闘いは力強く動きだしている。

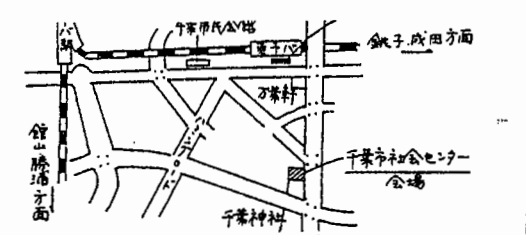
そうした中で、特に許せないのはJR総連革マルである。彼らは労働者人民の名で「武器弾薬輸送は貨物会社の収益確保にとって重要」と公然と、戦争と有事体制に協力加担することを表明しているのである。彼らの階級的犯罪を断じて許してはならない。

第二次橋本内閣に対し、あるいは連合やJR総連革マルに対し、広範な労働者人民の中から「もうがまんならない」という怒りが湧き起こっている。われわれは「新安保ガイドラインと有事立法に反対する一〇〇万人署名運動」の先頭に立ち、総ての怒りを結集し、参戦国化阻止・橋本内閣打倒の大運動をつくりだすために全力で奮闘するものである。

10・2 物販担当者会議
動力車会館 18時?

組合員・家族のみならず
ぜひおいで下さい!

家族会第17回連続講座
と団結運動会のご案内
家族の健康のための料理教室
とき : 10月5日(日) 午前10:30
ところ : 千葉市社会センター
メニュー : 中華風あんかけハンバーグ他



団結運動会
① 11月2日(日) 9時より
① 千葉市・穴川中央公園(稲毛区役所裏)
① ミニSLも走ります!